

脳卒中センター

● スタッフ（平成 29 年 10 月 1 日現在）

センター長 河野 道宏（脳神経外科主任教授）
副センター長 相澤 仁志（神経内科主任教授）
副センター長 羽生 春夫（高齢診療科主任教授）

医師数 20 名

● 特徴・診療対象疾患

脳卒中は突然に起こる脳血管障害の総称で、虚血性病変として脳梗塞（脳血栓、脳塞栓）、一過性脳虚血発作、出血性病変として脳出血、くも膜下出血があります。本邦では年間約 27 万人が脳卒中を発症し、年間約 12 万人が脳卒中後に死亡しています。

当センターでは、救命救急センター、脳神経外科、脳神経内科、高齢診療科が密な連携のもとに、あらゆるタイプの脳卒中を 24 時間体制で診療し、高度で迅速な対応が必要な超急性期・急性期の治療を提供しています。

● 診療体制と実績

1) 診療体制

3 次対応が必要な重症の場合は、救命救急センターでの診療を行い、それ以外は脳神経外科、脳神経内科、高齢診療科での診療を行っています。毎朝の脳神経外科、脳神経内科、高齢診療科でのカンファレンス、さらに、救命救急センター、放射線科、事務を含めた、週一回の合同カンファレンスを行い、脳卒中患者の情報を共有し総合的に治療を行っています。

2) 診療実績（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

入院患者数

225 名	内訳	脳梗塞（含 TIA）	： 122 名
		脳出血	： 50 名
		くも膜下出血	： 39 名
		その他	： 6 名

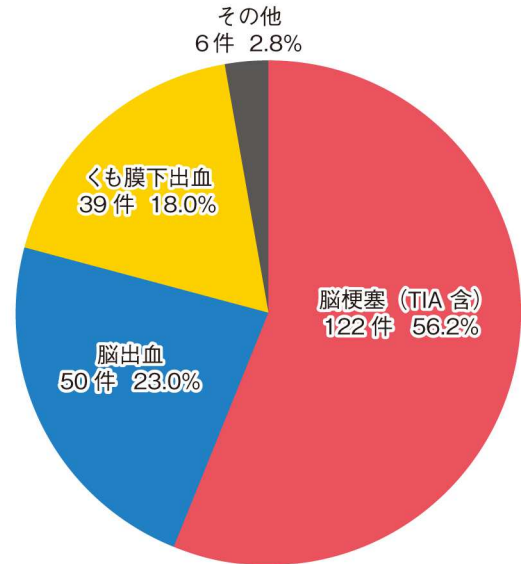


図 1 平成 29 年度入院患者疾患別割合